



第11号
平成21年7月31日発行
発行者：特定非営利活動法人
金堂まちなみ保存会
理事長 西村 實
普及啓発委員会



（理事長 西村 實）
誰でも気軽に立ち寄り心のふれあい、交流の場として大いに利用して頂きたいと願っております。

本年も町内外より多くの皆様の入会を賜り、一段と組織が強固になり、市より委託されました金堂まちなみ保存交流館の活用運営に大きな力をお寄せ頂きました。

当初よりの願いでもありません、金堂町並み保存の拠点としての位置づけが日々確実に現実味を帯びてまいりました。これも会員皆様の心からの

お支えがあつてのものとお深く感謝申し上げます。四月より市の文化財課より伝建事業の相談業務の窓口を当館に設け



ら、伝建事業に一層の御理解と御協力をいただき一味違った金堂町の町づくりを御支援をお願い致します。

第三回通常総会が、去る六月二十日金堂まちなみ保存交流館で開催されました。第一号議案は、「平成二十年度事業報告及び収支決算の承認」で、法人格取得後実質二年目を迎えた本年、市の支援によりわれわれの活動の基盤となる拠点施設（金堂まちなみ保存交流館）ができたこと、重要伝統的建造物群保存地区選定十周年を記念して「五個荘金堂まちづくりのあゆみ」を刊行したこと、インターネッ

トの活用により幅広く活動が周知できたこと、活動運営資金としては、会員数の増大はもとより旧中江家ご関係の方からの多額のご寄付を頂くなど多くの方のご理解とご協力が得られたことは、これまでの活動の地道な努力の結果であるなどの報告がされました。

（事務局長 辻 勝次）

会員募集について

金堂まちなみ保存会が法人化になって三年目を迎えました。六月末現在、一三四名の方々が入会され、事業にご協力いただいております。活動経費は会員からの会費収入・各種事業収入・補助金収入などで運営しています。この素晴らしい「金堂まちなみ」を継承・発展させていくためには、更に多くの方々のご協力が必要となっております。



（福地 真二）



ホームページ・ブログのご案内

金堂まちなみ保存会では、季節の観光情報や町内で気になった事、気づいた出来事などを特派員が取材し、金堂まちなみ保存会ホームページ内にある金堂まちなみ保存会のブログで毎日紹介しています。きっと金堂の良さが「再発見」できるブログにアクセスして、楽しくてユニークな取材記事をご覧ください。また金堂まちなみ保存会ホームページの内容も適宜、更新しております。最新情報満載となっております。

金堂の歴史再発見

日本青年協会関西道場の建設財団法人日本青年協会は、現在も東京に本部を置く文科省・農水省所管の青年教育団体で、「真ん中を歩こう」「土台石になろう」を精神としています。青年協会は、昭和三年、当時の文部省社会教育局長であった関屋龍吉が、視察したドイツの国家主義的青少年運動やデンマークの国民高等学校の教育制度に啓発され、帰国後、文部大臣岡田良平や陸軍大臣宇垣一成・海軍軍令部長鈴木貫太郎の賛同を得て、青少年の精神修養のために設立したものでした。

（林 純）

この青年協会の関西道場が、金堂集落の南、現在の市営友田団地一帯にありました。当時、金堂で精神修養活動に尽力していた辻庄一郎が青年協会の理事に就任し、金堂を関西の活動拠点にしようと、金堂の近江商人外村与左衛門に資金提供を依頼。外与家が土地建物を一手寄付して、昭和二年五月八日に、宇垣一成（元首相・陸軍大将・清浦奎吾（元首相・青年協会総裁）・鈴木孝雄（陸軍大将）ら政府・軍の高官が参列して、盛大に開館記念式典が挙行されました。



中江勝治郎などの金堂の近江商人たちの顔が見える

編集後記

ブログの内容がとても充実しています。総勢約十人ほどで順番に書いているのですが、性別・年齢・地区内外在住と色々なメンバーが寄っているせいか、視点が違う様々な記事が読めます。書く人間はネタ探しとパソコンの操作に四苦八苦していますが、開設当初よりは成長したかも？ぜひ御一読下さい。

（堂下 真芭）

実のある活動に向かって

第3回通常総会報告

併せて、山村伸監事より平成二十年度の監査報告が行なわれました。

第二号議案は、「平成二十一年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認」についてで、

「金堂まちなみ保存交流館」の本格的運用により、更なる飛躍の年と位置づけ、組織の充実と共に地域住民の伝建に対する意識の向上と円滑な推進を図っていきたい。その一環として市から委託を受けた

伝建地区の修理修景に関する相談業務について、住民目線の対応を心がけていくことなど、今までの事業に加え一歩進んだ事業の展開を図り金堂町未来像構築に努めていくなどの説明がされました。